

# Teradata 9200

## SL500 モジュラー・ライブラリ・システム

Data Warehousing > Backup, Archive, and Restore

### 成長するシステム環境に最適な、拡張性に優れたラックマウント型のテープ・オートメーション・ソリューション

Teradataデータウェアハウス・ソリューションの利用ニーズや用途が広がるにつれ、データ量は増大し続けます。その一方で、バックアップに費やせる時間はますます少なくなり、また、ミットレンジのバックアップ環境におけるストレージ・ライブラリは瞬時にその容量とパフォーマンスの限界に達してしまいます。拡張性の高いラックマウント型のテープ・オートメーション・ソリューションのTeradata 9200 SL500モジュラー・ライブラリ・システムがこの課題を解決します。現在のバックアップ要件に合った費用対効果の高い構成から始め、運用管理性、信頼性を維持しながら、必要に応じてモジュールを追加し、拡張していくことが可能です。

#### 優れた拡張性と高速で信頼性の高いバックアップ機能

柔軟性を考慮して設計されたTeradata 9200 SL500モジュラー・ライブラリ・システムは、50 LTOスロットから410 LTOスロットまで拡張が可能で、最大で328テラバイトの非圧縮データを保存できます。また、最大18台のテープドライブを収容し、1時間あたり約5テラバイト以上の非圧縮のデータスループットを実現します。これにより、高可用性が求められる環境において、バックアップ時間を短縮するために必要なパフォーマンスを提供します。さらに、ドライブ容量の拡張も可能です。最新のLTOテープ・ドライブ技術を採用しており、Teradataのデータ保護要件の並列アーキテクチャには最適なバックアップ装置です。

#### 省スペース

ラックマウント対応の密度の高いカートリッジ・スロットを用いた設計で、設置面積が限られた環境にも最適なシステムです。専用ラック構成のテープ・オートメーションとしてSMP (Symmetric Multi Processing) サーバーから複数のMPP (Massively Parallel Processing) ノード構成のTeradataシステムのサポートや、単一のTeradata 9200 SL500モジュラー・ライブラリ・システムを複数のTeradataシステムで共有することができます。



#### 投資の保護

同一のロボット装置とライブラリ・オートメーション・アーキテクチャを使用して、スロット数とドライブ数の拡張が可能です。また、ライブラリをアップグレードするだけで容量を追加できるため、既存の装置への投資を保護することができます。さらに、標準化されたインターフェースとライブラリ・コントロール・ソフトウェアによって、Microsoft WindowsまたはNovel SUSE LinuxのTeradata BAR (バックアップ、アーカイブ、リストア) フレームワーク環境下でリソースを容易に共有することができます。

高速なストリーミング・パフォーマンスと大容量のカートリッジ・ストレージを備えたTeradata 9200 SL500 モジュラー・ライブラリ・システムは、

SMPから大規模MPP構成までをカバーし、スケーラブルなTeradataシステムにとって最適な環境を提供します。現在から将来にわたってのストレージ統合およびデータ保護のニーズに対応した、非常に柔軟性のあるプラットフォームです。

#### 主な利点

- > 必要な容量から導入をスタートし、データ量の増大に応じてカートリッジ・スロットやドライブを効率良く、容易に追加。
- > 信頼性を損なうことなく容量とパフォーマンスを拡張し、データセンターの要件変化に柔軟に対応。
- > どこからでもライブラリ管理が可能で、管理コストの削減を実現。

# Teradata 9200

## SL500 モジュラー・ライブラリ・システム

www.Teradata-j.com

### 仕様一覧

<p><b>性能</b> ライブラリ最大転送速度 (非圧縮時)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>LTO 4 (18 ドライブ, 120 MB/s) - 7.7 TB/時以上</li><li>LTO 3 (18 ドライブ, 68~80 MB/s) - 5 TB/時以上</li></ul> <p><b>容量</b> 最大容量 (非圧縮時)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>LTO 4: 800 GB/カートリッジ - 最大328 TB (w/410 カートリッジ)</li><li>LTO 3: 400 GB/カートリッジ - 最大164 TB (w/410 カートリッジ)</li></ul> <p><b>カートリッジ・スロット数</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>LTO: 50 ~ 410 スロット ベース・モジュール: LTO 50 スロット</li></ul> <p><b>カートリッジ拡張モジュール</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>LTO: 120 スロット</li></ul> <p><b>テープ・ドライブ数</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>LTO: 1~18 ドライブ</li></ul> <p><b>カートリッジ・アクセス・ポート (CAP)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>ベース・モジュール: 5CAP (LTO)</li></ul> <p><b>可用性</b> MEBF/MSBF</p> <ul style="list-style-type: none"><li>2,000,000回</li></ul> <p><b>MTTR</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>30分未満</li></ul> <p><b>無停止タイプの保守性</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>ホットスワップ対応ドライブ、診断とレポート作成用のEthernetポートとシリアル・ポート、冗長構成のファンを搭載したホットスワップ対応冗長電源</li></ul> <p><b>互換性</b> サポートされるホスト・プラットフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"><li>Novell SUSE Linux, UNIX MP-RAS, Microsoft Windows 2003</li></ul>	<p><b>ロボティクス・コントロール・インターフェース</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>ロボティクス・コントロール・インターフェースまたは4Gbファイバー・チャンネル</li></ul> <p><b>任意のカートリッジ、任意のスロット・テクノロジー</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>複数のテープおよびメディア・タイプの同時サポート</li></ul> <p><b>管理</b> デジタル・ビジョン・システム</p> <ul style="list-style-type: none"><li>独自のデジタル・カメラ・ビジョン・システムによる連続キャリブレーションとバーコード認識の実行</li></ul> <p><b>操作パネル</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>診断コントロール、ステータス表示、ウィンドウ表示などのオプション設定</li></ul> <p><b>自動クリーニング</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>ライブラリまたはソフトウェア・コマンドから利用可能なテープドライブ・クリーニング用のクリーニング・カートリッジスロットの構成が可能</li></ul> <p><b>自動セルフ・ディスカバリ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>セル、ドライブ、カートリッジ・アクセス・ポートの自己構成</li></ul> <p><b>連続オートメーションキャリブレーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>定期的なメンテナンスや調整は不要</li></ul> <p><b>キャビネット・スペック</b> ベース・モジュール (最小構成)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>高さ: 35.6 cm</li><li>奥行: 81.1 cm</li><li>幅: 48.0 cm</li><li>ユニット高: 8U</li><li>重量: 34.56 kg</li></ul> <p><b>ドライブ拡張モジュール</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>高さ: 35.6 cm</li><li>奥行: 81.1 cm</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>幅: 48.0 cm</li><li>ユニット高: 8U</li><li>重量: 26.9 kg</li></ul> <p><b>カートリッジ拡張モジュール</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>高さ: 35.6 cm</li><li>奥行: 80.3 cm</li><li>幅: 48.0 cm</li><li>ユニット高: 8U</li><li>重量: 20.1 kg</li></ul> <p><b>作動温度</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>動作時: 10°C~40°C、 相対湿度20%~80% (結露のないこと)</li><li>非動作時: -40°C~60°C、 相対湿度10%~95% (結露のないこと)</li></ul> <p><b>電圧</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>100~127 VAC, 200~240 VAC単相50~60 Hz (自動レンジ調節)</li></ul> <p><b>ライブラリ (動作時最大定常電流 - 非ピーク)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>1.42A @120 V または 0.75 A @ 240V、 614 BTU/hr</li></ul> <p><b>ドライブ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>ドライブ消費電力は機種によって異なります。</li></ul> <p><b>準拠規格</b> 電磁環境適合性</p> <ul style="list-style-type: none"><li>FCC (47CFR 15, サブパートB) クラスA, CE (EN55022 クラスA, EN55024, EN61000Q-3-2, EN61000-3-3), VCCI (CISPR22) クラスA, Canada (ICES-003) クラスA</li></ul> <p><b>安全性</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>UL 1950 CAN/CSA 22.2 No. 950: EN60950</li><li>RoHS 指令</li></ul>
---	---	--

**TERADATA**  
Raising Intelligence

日本テラデータ株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2 (茅場町タワー)  
http://www.teradata-j.com/

・このカタログの記載情報は、2008年3月現在のものです。  
・このカタログで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。

・TeradataはTeradata Corporationの登録商標です。本文中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。本文中に記載されている製品情報は、予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。